

議決事項第1号

県立高等学校適正化の推進に係わる検証作業についての請願書

要旨：

- ①水平的多様性確保という今回の適正化が目指す高校教育改革の目的そのものについて県民が望む普通課を廃校してまで推進された根拠を示されたい。
- ②再編実務関連者のその後の天下り先や園遊会招待、表彰等の経緯についての経過を示されたい。

理由：

2年前の高校再編実施に於いて、廃校対象校の生徒・保護者と教育委員会が打ち出した方針には大きな軋轢があった。その軋轢は現状でも埋まっていない。

軋轢の大きな原因が、高等教育以外の現場では所謂偏差値重視のリクルートが中心であるのが現状であり、生徒・保護者については自らがなんら求めていない水平的多様性の推進により普通科が廃校されるという非現実的な対処が強硬された点にある。

この「水平的多様性」という言葉は、「県立高等学校適正化の推進に係わる検証について 案」の中で示されており、先の文書の14項に於いて、【今回の適正化が目指す高校教育改革】の部分で、地元の要望とは全く無関係に規定事項として掲げられている。

この軋轢はこれから高校受験を控える層からも不満があがっており、そもそも今回の高校教育改革が住民意思とかけ離れたものであった点について、検証作業で掘り下げ再検討されることを要望する。

また、こうした県民の間に多大な混乱を齎す当事者であった安井元奈良高校校長の奈良学園への天下りや吉田教育長の2018年秋の園遊会への参列などいまだ高校再編に不満・疑問を抱く県民感情を逆なでしている現状を鑑みれば、実施後の褒章的行政行動がますます県民との対立を深めており、教育委員会は象牙の塔だと揶揄される声すら聞こえている。

これは改変作業を進める際の情報発信不足といったような、単なる住民への情報発信方法に問題があったためではなく、そもそも高校再編計画の目的そのものに住民意思との大きな乖離があったと認定せざるえない。

今回の高校再編について、抜本的な見直しを含めた検証作業をお願いします。

令和〇年〇月〇日
奈良県教育委員会殿

請願者住所：[REDACTED]

請願者氏名 [REDACTED]

電話番号：[REDACTED]



奈良県教育委員会情報公開徹底についての請願書

要旨：

- ①現在月1回で開催される教育委員会は審議中継すらされていない。その根拠を示されたい。
- ②現在月1回開催される教育委員会は開催予定を10日前まで告示されていない。その根拠を示されたい。

理由：

①について

吉田教育長は2021年11月18日の記者会見で、高校再編が混乱した点について「今後は、県民からの意見の吸い上げと情報の発信に力を入れ、そのための指針を作る」と述べておられる。にも拘わらず現状、教育委員会に於ける審議はネット中継すらされていない。開催時間が平日昼間と仕事を持っている多くの県民が傍聴困難な現状で、ネット中継すら実施されないのは疑問である。教育委員会での審議のネット中継、およびアーカイブの即時公開、議事録の可及的速やかな公開を要望する。また開催時間を多くの県民が傍聴しやすい午後18時以降とするなどの方法も併せて検討されたい。

②について

これも①同様、県民への情報発信に尽力されるおつもりであるなら、少なくとも開催1ヶ月前には、開催予定日時を県のホームページ等で公表していただきたい。現状は開催10日前にならないと県民が教育委員会開催日時すら知ることができず、スケジュール調整し傍聴に赴くことすらままならない。情報を受け取る側の事情を全く無視した状態で教育委員会審議が行われており「県民からの意見の吸い上げと情報の発信に力を入れ」られるのであれば、まず現状の運営から速やかに改善されることを望む。

令和3年11月25日
奈良県教育委員会殿

請願者住所：

[Redacted]

請願者氏名：

[Redacted]

電話番号：

[Redacted]

